

## 第2次小山市子ども・子育て支援事業計画

### 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業 令和6年度実績報告について

#### 1. 教育・保育

- |                               |    |
|-------------------------------|----|
| (1) 幼稚園・認定こども園(1号認定、3～5歳児)    | P1 |
| (2) 保育園(所)・認定こども園(2号認定、3～5歳児) |    |
| (3) 保育園(所)・認定こども園(3号認定、0～2歳)  |    |
| (4) 幼稚園・保育園(所)・認定こども園の整備      |    |

#### 2. 地域子ども・子育て支援事業

- |                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| (1) 利用者支援事業                         | P2 |
| (2) 延長保育事業                          | P3 |
| (3) 放課後児童健全育成事業(学童保育クラブ等)           |    |
| (4) 子育て短期支援事業                       | P4 |
| (5) 乳児家庭全戸訪問事業                      |    |
| (6) 養育支援訪問事業                        | P5 |
| (7) 地域子育て支援拠点事業                     |    |
| (8) 預かり保育事業                         | P6 |
| (9) 一時預かり事業                         |    |
| (10) 病児・病後児保育事業                     | P7 |
| (11) ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業) |    |
| (12) 妊婦健康診査事業                       | P8 |
| (13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業     |    |

# 1. 教育・保育について

※基準日：各年4月1日時点

## (1) 幼稚園・認定こども園（1号認定、3～5歳児）

担当課 保育課

（単位：人）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の 見込み	①計画	2,389	2,182	2,006	1,853	1,763	1,708
	②実績	2,350	2,192	2,086	1,813	1,680	1,541
	差(②-①)	▲ 39	10	80	▲ 40	▲ 83	▲ 167
	乖離率(②/①)	98.4%	100.5%	104.0%	97.8%	95.3%	90.2%
③確保方策		2,654	2,696	2,591	2,501	2,501	2,501

## (2) 保育園（所）・認定こども園（2号認定、3～5歳児）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の 見込み	①計画	1,650	1,718	1,811	1,917	1,909	1,936
	②実績	1,610	1,785	1,869	2,051	2,054	2,118
	差(②-①)	▲ 40	67	58	134	145	182
	乖離率(②/①)	97.6%	103.9%	103.2%	107.0%	107.6%	109.4%
確保方策		1,650	1,830	1,901	1,961	1,934	1,941

## (3) 保育園（所）・認定こども園（3号認定、0～2歳児）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の 見込み	①計画	1,599	1,361	1,441	1,507	1,512	1,521
	②実績	1,473	1,448	1,306	1,399	1,361	1,388
	差(②-①)	▲ 126	87	▲ 135	▲ 108	▲ 151	▲ 133
	乖離率(②/①)	92.1%	106.4%	90.6%	92.8%	90.0%	91.3%
確保方策		1,525	1,460	1,589	1,692	1,719	1,732

## (4) 幼稚園・保育園（所）・認定こども園の整備量

（単位：か所）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
幼稚園	計画	7	4	4	2	2	2
	実績	6	4	4	2	2	2
保育園 （所）	計画	33	33	33	34	34	34
	実績	34	33	33	33	32	32
認定 こども園	計画	12	14	15	17	17	17
	実績	12	14	15	16	16	16
合計	計画	52	51	52	53	53	53
	実績	52	51	52	51	50	50

## 2. 地域子ども・子育て支援事業について

※基準日：各年3月31日時点

### (1) 利用者支援事業

担当課 子育て家庭支援課、国際政策課

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業

(単位：か所)

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の 見込み	計画	1	1	2	2	2	2
	見直し後	—	—	—	—	3	3
実績		1	1	2	3	3	3
確保方策	計画	1	1	2	2	2	2
	見直し後	—	—	—	—	3	3

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P62

### ■実績・課題・方向性

#### 【基本型】子育て支援相談室「ほほえみ」

子育て支援相談室において、相談員が子育て支援事業の情報提供や利用支援を行うとともに、育児や家庭内の相談に対して助言等を行った。また、相談過程において、保護者等の状況に応じ、「こども家庭センター」等関係機関と連携して支援に繋げることができた。令和7年度は相談員を1名増員し、相談体制を充実させ、「こども家庭センター」との連携を強化していく。

#### 【基本型】外国人ふれあいサロン

外国人住民が教育・保育施設や子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、スペイン語、ポルトガル語、英語及び「やさしい日本語」による相談対応や関係機関への接続、子育てに関する情報を各言語で記載した情報誌の作成・配布等による情報提供を行うとともに、親子で料理を行ったり、小学校入学前の児童を主な対象とした日本の学校を紹介したりするイベントの実施など、親子関係の醸成に資するイベントを行った。

#### 【こども家庭センター型】こども家庭センター

令和6年度より、母子健康包括支援センター（母子保健）とこども家庭総合支援拠点（児童福祉）が同じ課となり、「こども家庭センター」が設置されたことで、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援ができる体制が整備された。2年目は、こども子育てに関わる包括的な相談窓口として、ヤングケアラーや不登校支援等の問題についても、関係部署・期間と連携した支援の充実を図る。

※基本型 … 子ども及びその保護者等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所において、当事者目線の寄り添い型の支援を実施する。

※こども家庭センター型 … 妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援及び全てのこどもと家庭に対して虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援まで、切れ目なく対応する。

## (2) 延長保育事業

担当課 保育課

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日の利用時間を超えて、保育園(所)・認定こども園において保育を実施する事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	1,251	1,007	992	979	960	950
実績	1,025	885	908	812	757	978
確保方策	(人)	41	1,110	1,110	1,140	1,140
	(か所)	38	38	38	38	38

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P62

### ■実績・課題・方向性

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより以前の利用状況に戻りつつあるものと思われる。

## (3) 放課後児童健全育成事業(学童保育クラブ等)

担当課 こども政策課

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
量の見込み	低学年	1,439	1,453	1,468	1,493	1,508	1,522
	高学年	500	513	513	513	513	513
	合計	1,939	1,966	1,981	2,006	2,021	2,035
実績	低学年	1,254	1,300	1,302	1,414	1,504	1,620
	高学年	399	388	512	482	489	491
	合計	1,653	1,688	1,814	1,896	1,993	2,111
確保方策	(人)	2,156	2,068	2,038	2,065	2,105	2,105
	(か所)	64	64	63	64	65	65

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P63

### ■実績・課題・方向性

令和6年度は、56(指定管理31・業務委託25)学童保育クラブにおいて、放課後児童健全育成事業を実施した。また、今後の整備については、令和7年9月に小山城南小学校・中小学校の校内学童の開館、令和9年度を目指し城東小学校敷地内に新城東小学童保育館建設整備を決定した。

今後の学童施設整備については、児童の利用増加が予想される地区は、校内学童の施設整備を主に推進し、一方で児童が減少傾向の地区は、学童施設の集約化・民営化を図り、地域の実情に応じ進めていく。

#### (4) 子育て短期支援事業

担当課 子育て家庭支援課

保護者の疾病等の理由により家庭における養育が一時的に困難となった場合、児童養護施設等において児童を養育する事業【短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）】

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	35	30	30	30	30	30
実績	36	19	32	15	20	31
確保方策	35	30	30	30	30	30

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P66

#### ■実績・課題・方向性

育児疲れやレスパイト目的での利用が多く、令和5年度と比較すると、単一利用者の複数回利用等で実績が増加しており、利用者のニーズに応じ他のサービスを含めた利用調整についても対応する必要がある。また、親子での利用等、柔軟な対応について委託事業者を含め検討していく。

#### (5) 乳児家庭全戸訪問事業

担当課 子育て家庭支援課

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	1,327	1,268	1,247	1,231	1,216	1,201
実績	1,241	1,117	1,135	1,061	1,055	942
確保方策	実施体制：助産師（非常勤特別職）、保健師					

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P66

#### ■実績・課題・方向性

これまで訪問を辞退するケースが数件あったが、子育て応援給付金事業の普及とともに、訪問事業を辞退するケースは減少している。助産師等専門職が訪問することで、母子の健康状態の把握や助言、子育て支援サービスの情報提供を行い、支援が必要な場合は関係機関と連携し、養育困難・貧困等の早期発見・支援につなげている。

**(6) 養育支援訪問事業**

担当課 子育て家庭支援課

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	395	400	400	400	400	400
実績	679	559	393	465	370	274
確保方策	実施体制： 育児支援家庭訪問員 団体委託	400	400	400	400	400

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P66

## ■実績・課題・方向性

要保護児童等虐待リスクの高い家庭への訪問を実施し、当該家庭において安定した養育が可能となるよう助言及び育児支援を実施している。担当訪問員の定期的な訪問により、信頼関係が築かれた中で、個々の家庭の状況に合わせた育児相談や支援が行えている。保護者や家族の育児不安の軽減だけでなく、育児力の向上にもつながっている。今後も虐待予防・早期発見の観点から、訪問開始前後や家庭の状況変化に応じた評価を実施していく必要がある。

**(7) 地域子育て支援拠点事業**

担当課 子育て家庭支援課、保育課

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
量の見込み	3,512	2,707	2,687	2,651	2,615	2,583	
実績	2,350	738	883	1,394	1,841	1,741	
確保方策	(人回/月)	2,860	2,707	2,687	2,651	2,615	2,583
	(か所)	7	7	7	7	7	7

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P67

## ■実績・課題・方向性

【すまいる・にっこり】子育て家庭支援課  
未就園児・未就学児への遊び場の提供、子育て世代の親子交流の場としての活動、行事を継続開催した。

【子育てひろば】保育課  
新型コロナウイルス感染症が5類へ移行された令和5年度同様の利用実績者数となり、利用人数を維持している。

**(8) 預かり保育事業**

担当課 保育課

保護者の仕事、疾病、用事等の理由により、幼稚園・認定こども園において、教育時間の前後の時間、在園児を預かり必要な保育を行う事業

(単位：人)

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の 見込み	1号	17,214	16,363	15,791	15,238	14,705	14,190
	2号	67,843	64,643	62,380	60,197	58,090	56,057
	計	85,057	81,006	78,171	75,435	72,795	70,247
実績		84,082	65,231	62,918	51,471	52,354	52,667
確保方策	在園児対象型	79,952	90,000	95,000	95,000	95,000	95,000

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P67

## ■実績・課題・方向性

教育認定児童が減少しているにも関わらず、実績はほぼ横ばいである。認定こども園・私学助成幼稚園においても保護者の就労などの事由により預かり保育のニーズは非常に高く、今後も同様の利用が見込まれる。

**(9) 一時預かり事業**

担当課 保育課、子育て家庭支援課

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間の時間、保育園（所）、認定こども園、その他の場所において一時的に預かり、必要な保護を行う事業

(単位：人)

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み		17,005	5,800	5,840	5,880	5,921	5,962
実績	一時預かり	5,715	3,573	2,791	3,111	3,736	3,071
	子育て援助活動支援事業	215	344	142	185	46	78
確保方策	一時預かり (保育園(所)等)	34,531	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
	子育て援助活動支援事業 (病児・緊急対応強化事業を除く)	532	135	135	135	135	135

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P68

## ■実績・課題・方向性

## 【一時預かり】

私学幼稚園の認定こども園移行等により保育施設の拡充が進んだことにより相対的に利用者が減少しているものと推察される。実績値から今後の適正な確保方策を見定めていく必要がある。

## 【子育て援助活動支援事業】

ファミサポの援助活動の一環として、預かり支援時に、保護者や依頼会員、提供会員双方が安心して利用できるよう運営支援を行っていく。また、必要に応じてマニュアルの見直しや講習会についても委託事業者と協議していく。

**(10) 病児・病後児保育事業**

担当課 保育課、子育て家庭支援課

病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を行う事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
量の見込み	2,563	2,670	2,729	2,695	2,641	2,615	
実績	病児・病後児保育事業	1,785	245	97	75	318	357
	子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業を除く)	0	0	0	0	0	0
確保方策	病児・病後児保育事業	6,811	3,120	3,120	3,120	3,120	3,120
	子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業を除く)	3	3	3	3	3	3
	(か所)	15	15	15	15	15	15

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P68

## ■実績・課題・方向性

## 【病児・病後児保育事業】

利用が増加したものの、コロナ感染症拡大以前の令和元年と比べると利用者は5分の1であり、子どもが病気の時は仕事を休んで看病する保護者が増えており、保護者の意識も以前とは変わってきているものと推察されることより、今後のニーズを注視していく必要がある。

## 【子育て援助活動支援事業】

ファミサポの援助活動の中で病児、病後児の預かりの依頼が年々増している。引き続き提供会員の募集を強化し、緊急時の対応可能な会員の確保、病児・病後児の預かりに必要な知識等の習得を含めた講習会の開催により、会員が安心して利用できる体制を整える。

**(11) ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)**

担当課 子育て家庭支援課

乳幼児や小学生等の子どもを持つ子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	1,612	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
実績	2,243	1,764	1,620	1,548	1,688	2,113
確保方策	2,144	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P69

## ■実績・課題・方向性

コロナ禍以降、毎年度活動件数は減少傾向だったが、令和5年度より増加、令和6年度はコロナ禍前と同等の2,000件以上の活動件数となっている。通常の送迎、預かりのみならず、外国籍の親子の対応、発達課題がある子どもの預かりなど、多種多様な援助ニーズが増加傾向にある。ファミリーサポートセンター会員の安心感と満足度の向上のため、委託事業者と協力しながら会員講習内容の見直し、会員募集の強化を図っていく。

### (12) 妊婦健康診査事業

担当課 子育て家庭支援課

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業

(単位：人)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
量の見込み	15,527	17,256	16,956	16,728	16,524	16,320
実績	15,517	15,124	14,548	13,782	12,770	12,701
確保方策	実施場所：栃木県内外医療機関および助産所					
	実施体制：医療機関委託					

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P69

#### ■実績・課題・方向性

妊婦健診については、令和6年度も前年度と比較すると受診件数は減少しているが、対象者数も減少しているため、受診率はほぼ横ばいである。今後も関係部署との連携および広報・ホームページ等で健診事業についての周知に努めていく。  
また、産婦健康診査については令和5年10月1日より、「産後1か月健診」に加えて、新たに「産後2週間健診」も助成対象とし、産婦健診の助成回数が1回⇒2回（各5,000円）となった。産後うつや新生児への虐待予防の観点から、出生後間もない時期の母体の身体的機能の回復、授乳状況、精神状態を関係機関と連携しながらタイムリーに把握し、早期に専門職による支援につなげ、妊産婦の負担軽減を図っていく。

### (13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

担当課 保育課

#### ■実績・課題・方向性

小山市においては、現行の事業者による特定教育・保育施設の運営実績により充足しているものと判断している。

第2次小山市子ども・子育て支援事業計画 P69